

【一面から続き】

姓通称使用(旧姓を通称として使用する)、c. 事務・コメディカル(女性の少ない部署における)昇進などの差別的以上三点について取り組むこととした。

二、専門部会報告

前日開催された専門部会の報告が行われた。

【病院部】

医療施設全体で労使協議会のテーマについての意見交換が行われた。内容としては「資格手当」「勤務評定」「新たな等級に対する

追加工資とされるか検討に入る事が報告された。

【女性部】

中央委員二名、各単組の女性部長はじめオプザーバ、本部より女性部長の國本中央執行委員長の進行のもとで女性部会がおこなわれた。今年度は女性特有の問題提起もあり、ジェンダー部への部会名変更は、次回以降の議題を加味して継続検討とした。今年度はa. 小一の壁問題、b. 旧

【血液センター部】

二〇二四年十月に予定している血液センター部会の開催場所、また血液事業本部労使協議会での協議内容について意見交換・協議が

【病院看護部】

今年度の看護部会と労使協議会の日程とブロック代表者・助手代表を確認した。二〇二四年度の調査事項項目と協議する内容について意

※今後の予定

- 単組新任役員研修会：六月二十二日(土) 十三時三十分〜二十三日(日) 十二時
●病院長看護部会：七月六日(土) 十一時〜十六時
●第二回血液センター部会：十月二十六日(土) 十三時三十分〜十六時
●第三回中央委員会：十一月十四日(土) 十三時〜十五日(日) 十二時
●第六十四回定期全国大会：二〇二五年二月十六日(日) 十三時〜十八日(火) 十二時

全国から15,028名の署名簿を提出 要求実現へ向けて



5月13日(月) 全国の加盟単組より寄せられた組合員及びその家族15,028名の署名簿を本社へ提出し、今年度のベースアップ5.0%、並びに新たな手当やその他の諸要求の実現に向けて、本社の誠意ある対応を強く申し入れました。

参考 *昨年度14,335名

【二〇二四年度中央委員】

◎印は代表中央委員、通信委員・闘争委員を兼ねる

- 【第一ブロック】(二名) 高橋八千枝(盛岡日赤) 金子 正志(山形血七)
【第二ブロック】(八名) 加藤由香利(芳賀日赤) 大塚 淳(那須日赤) 井川 智義(足利日赤) 菅谷 英章(原町日赤) 吉田 瑠花(秦野日赤) 水崎 江利(浜松日赤) 渡邊可奈子(浜松日赤) ◎阿久根茂樹(千葉血七)
【第三ブロック】(九名) 竹前 秀一(飯山日赤) 林 衛(名二日赤) 荻野 裕太(名二日赤) 服部 哲幸(名二日赤) 野村 勇介(名二日赤)
【第四ブロック】(一名) ◎阿迦井 功(大津日赤)
【第五ブロック】(七名) 大淵 賢一(鳥取日赤) 小林 誠(鳥取日赤) 小田 昌弘(岡山日赤) 青井 雅普(岡山日赤) 松田 由佳(岡山日赤) 米田 晋司(三原日赤) 有本 忠弘(三原日赤)
【第六ブロック】(一名) ◎松本 良樹(今津日赤)
以上、二十八名

【看護助手会】

昨年同様に、看護助手を取り巻く現状を訴え、呼称問題をはじめ、人員確保や働き方について③看護助手業務における問題点について④その他(Rプラン・勤務評定について)の四項目を議題とし、本年七月六日開催の第二回病院看護部会にて更なる意見集約をおこなうこととした。また、二〇二四年度の調査事項項目に、グレード昇格の現状把握が出来るような項目の追加を調査部に依頼することとした。

【審議事項】

一、二〇二四年度ベースアップについて

柏谷中央書記長より二般経過報告が読み上げられ、今年度ベースアップや賞与の基本額、また、令和五年四月一日実施された新たな勤務評定制度にかかる評定の実施状況、令和六年から四月一日実施された新たな勤務評定制度に伴うベースアップの承認について本部活

第2回中央委員会 2024年9月8日(日)〜9日(月) 福島県福島市太田町13-53 「ホテル福島グリーンパレス」



二、期末手当について

基本額(法人業績連動部分)について 基本額四・五か月プラス一律六万円の要求額で継続交渉をおこなう。最終判断は本部一任。

【統一要求額】

夏期期末手当について 各ブロックで意見が割れたが投票した中央委員が最も多かった、二・二五か月(連続動部分)のみの記載の

【統一要求額】

各ブロックで意見が割れたが投票した中央委員が最も多かった、二・二五か月(連続動部分)のみの記載の



七十年の長き 歴史を噛み締めて



足利赤十字病院職員組合70周年

足利赤十字病院職員組合 結成七十周年記念式典開催

私たちの職員組合は、昭和二十四年に組合結成し七十年を迎える。変わらぬ組合活動へご支持と、歴代の執行部の熱意と努力、そして、日本赤十字新

並列は、判りづらさで人事院勧告との差が広がっている印象を受けるという指摘があった。本部より掲げられた改善を検討する提案が出され、承認された。二〇二四年度週休二日制アンケートについて 二〇二三年度第三回中央委員会にて決定した、未実施施設に対する二〇二四年度週休二日制アンケート活動

組合長 飯塚文哉